

# 男子バスケットボール Bリーグを目指すチームの運営会社 『がんばろう徳島』に資本参画

## Bリーグを目指す県内チーム

### 23社出資運営会社発足

社長に山花氏



山花英司氏

那賀町出身の藤田恭則氏(48)が社長を務める電子書籍販売大手のメディアアドック(東京)は1E、徳島県内で男子バスケットボールのBリーグ参入を目指すチームの運営会社「がんばろう徳島」を設立したと発表した。資本金は1億円を予定しており、メディアアドックが3分の2を担う67%を出し、残りを県内企業を中心とした約20社が出資する。藤田氏が代表取締役役に就任

し、代表権のない社長には県バスケットボール協会の山花英司理事(55)が就いた。今後、事務手続きやチームづくりを進め、県内挙げてのプロスポーツ振興や地域活性化に取り組む。3面に「人」、21面に関連記事

メディアアドックと同協会の有志が徳島にゆかりのある企業に出資を呼び掛けたところ、四国電力、大塚製薬、出資企業二十音順

出資企業二十音順  
 徳島化成、旭合興、阿波銀行、阿波新聞、ウエル、エフセーレン、トクシステム、大塚製薬、豊田、北同社、喜多機械産業、KATO DESIGN、HOTO

2022年度(23、24年シーズン)のBリーグ3部目3)参入を視野に入れており、財務状況などのチェックを受ける7月1日締め切りの1次審査の申請は、東京に拠るメディアアドックの社長を務める。5月14日に出資企業が集まり、県内で運営会社の設立協賛を聞く。藤田代表取締役は「徳島ゆかりの企業と二社となってクラブ運営に取り組む。バスケットボールに親しみがなかった人にも応援してもらえよう成長させていきたい」とコメント。「山花社長は」運営会社ができたことは率直にうれしい。県協会としっかり連携しながら準備を進めると話している。

(木村恭明)

当初は県協会が中心となり、運営会社の設立を進めていたところ、メディアアドックが参画を申し出て筆頭株主となった。

### 地域プロスポーツによる県内活性化

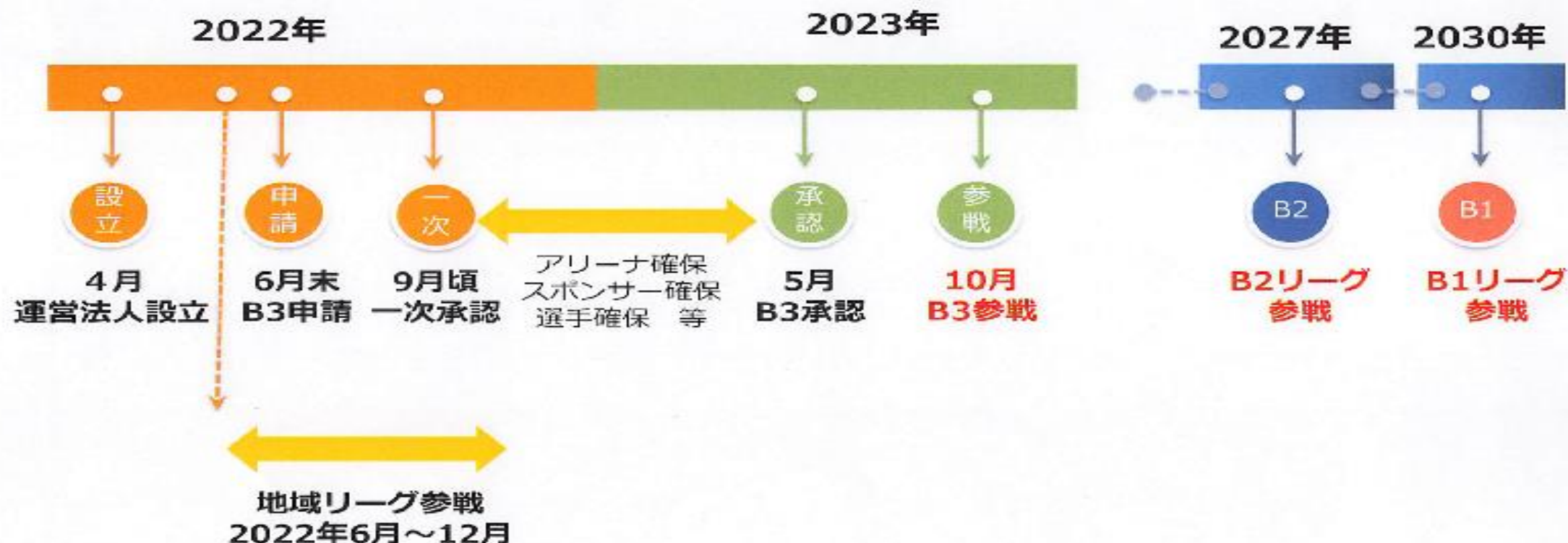
Bリーグは年間観戦者数約2.5百万人（コロナ前数値。コロナ下で約1.3百万人）を誇り、若年層の女性を中心に人気が高く、今後大規模な構造改革に乗り出すことから更なる拡大が期待される。

徳島ガンバローズがBリーグに参加し優秀な成果を収めることで、応援を通じた県民の一体感醸成、県内競技者人口の増加などを目指す。

また、出資企業各社の皆様のご協力により、これらを早期実現することで、経済的な成果の最大化も目指す。

# スケジュール

## 設立5年後にB2、8年後にはB1へ



### 3. プロジェクト概要

#### チーム名/デザイン (予定)



4つの四角で四国を表し徳島県の位置にポイントカラー。チェック柄である市松模様は、その柄が途切れることなく続いて行くことから、繁栄の意味が込められている。勝利のゴールを目指しチーム、ファン、徳島が一丸となる。



※ユニフォーム規程  
確認前のデザイン案

